

赤羽根校区は、太平洋に面する自然豊かな地域で、赤羽根ロングビーチやロコポイントなど、日本有数のサーフスポットを有し、多くのサーファーや観光客でにぎわいます。今年、ワールドサーフィンゲームスが開催され、来場者数4万5000名が会場に訪れ、大変な盛り上がりでした。

校区では、地域の将来像を「潮騒と若者でにぎわう赤羽根校区」とし、大切な地域資源である海を活用し、まちづくりに関するさまざまな取り組みを行っています。その一つとして小学生のボディボード体験学習を7月23日(月)に開催しました。



●小学生ボディボード体験学習の様子

◆赤羽根地区まちづくり推進委員会
この委員会は、「赤羽根ってとって
も良いところだよ」と言える「まち」
を目指して活動しています。活動は

主に三つの部会に分かれて行っています。今年度の取り組みを紹介しましょう。

①都市施設・ネットワーク部会

赤羽根地区の今ある施設の利用促進や必要な施設、交通について主に話し合う部会です。「住んで良し、来て良しの魅力ある町を紹介しよう！」をテーマに赤羽根の魅力を紹介するため、まちのPRマップを作成しています。



●PRマップを作成する様子

②居住・福祉部会

福祉や居住環境を話し合う部会です。地域の婚活支援、空き家活用についての活動を行っています。

③観光・交流部会

赤羽根の観光資源を活用し、地区活性化を話し合う部会です。高台から海が眺められる眺望スポットを地域の住民や来訪者が憩いの場として利用できるよう整備・管理を行い、赤羽根地区の魅力を高めることを目指し活動を行っています。

みんなで伊良湖岬をにぎやかに！
渥美半島ノルディックウォーク
2018開催

10月13日(土)に、渥美半島ノルディックウォーク2018を開催しました。本年度は、観光体験博覧会「たはら巡りな」のプログラムの一つとして実施しました。

伊良湖岬ににぎわいを取り戻し、渥美半島の良さを体感してもらおうと始めて3年目になります。参加者は市内の方に加えて、半数以上が県外や市外の方たちでした。三重県いなべ市のご夫婦は前日に来て、宿泊しての参加です。湖西市や浜松市からの参加者もいました。3年続けて参加してくれている方、団体もいました。



参加者が自分で歩く距離を決められるので自分のペースで歩くことができます。84歳の方は「2km歩いたよ」と、笑顔で話してくれました。

た。当日は天気も良く、片道約8kmの伊良湖港緑地から風車まで歩く西ノ浜コースでは、伊勢湾・三河湾の景色が遠くまでよく見えました。片道約6kmの堀切海岸コースでは、伊良湖岬灯台、恋路ヶ浜、日出の石門、片浜十三里を歩きます。

太平洋の海は輝いていて、参加者の皆さんは、気持ち良そうに歩いていました。



来年はさらに大勢の方が参加してくれることを期待したいと思います。

◆問い合わせ

渥美半島ノルディックウォーク実行委員会(鈴木吉春)
☎090912317983

田原市民活動支援センター

☎10001061
✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp
aichi.jp